

緊急対応が必要か

～緊急性のある具体的な情報か～

不審者情報には、「昨日、下校中に不審者と思われる人がいた。」「下校中に名前や学校の様子について聞かれた。」「子どもが被害に遭っている。」など、現在進行中のことから数日前の出来事まであります。また、近隣の地域での情報、重大事件から誤報まで、様々な情報が学校によせられます。

そこで、第一報が入った時点で、その概要を把握し、緊急に対応しなければならない情報なのかどうかをチェックする必要があります。

なお、緊急対応が必要でない場合でも、状況を十分に把握し、必要に応じ関係機関等に通報するとともに、ボランティア等の協力を得て、防犯対策を強化することが求められます。

1. 第一報で把握したい情報

次の点について、短時間に分かる範囲内で聞き、簡潔にメモをとる。

- いつ、どこで、誰に、どんなことが起こったか。
- 110番通報したか。
- 負傷者はいるか。119番通報したか。
- 周りに他の子どもはいるか。

2. 学校、家庭、地域が一体となった緊急対応が必要かどうかを見分けるポイント

例えば、次のような状況が続いており、子どもの安全が確保されていない場合は、緊急対応が必要となる。

- 凶器を持った不審者が、通学路の近くでうろついている。
- 登下校中の子どもが、不審者に襲われ、けがをした。
- 不審者が、登下校中の子どもたちに声をかけ、連れ去ろうとしている。
- 登下校中の子どもが、金品を奪われている。
- 校区内や周辺で、凶悪な犯罪が発生し、解決していない。

※緊急対応が必要でない場合でも、状況によって、警察・教育委員会に通報するとともに、ボランティア等と連携を図った防犯対策の強化を図る必要があります。

校長は、子どもの安全が確保されており、すでに不審者が去っている場合など、緊急対応の必要はないと判断しても、警察・教育委員会に通報するとともに、必要に応じてボランティア等と連携し、防犯パトロールの強化などを図ることが求められる。

また、登下校時の安全について、学年に応じた安全指導を行うことが望ましい。

〈メモの例〉

被害のあった子ども	○○ ○○○
時 間	AM / PM 3 : 1 0
場 所	なかよし公園前
状 況	・一人で下校中に男に刃物で切りつけられた ・近所の人が手当をしている
負傷 (人数) (程度)	1 名 傷は浅い、意識有り
通報(110番)	済 未
(119番)	済 未
他の子どもの 状 況	・周辺では他の子どもが下校している
そ の 他	男は逃走した
通 報 者	□□ □□□
連 絡 先	0 9 0 - △△△△ - × × × ×

被害者等の安全確保

緊急対応が必要と判断した場合には、子どもの安全確保を図る取組を迅速・的確に行う必要があります。その際、最初に子どもの安全確保などに取り組めるのは、緊急事態の発生現場付近にいる地域の人たちです。したがって、日頃から地域の人たちの協力が得られる体制を構築しておき、緊急事態発生時には、地域住民・保護者・ボランティア等と連携して、子どもの被害を防止し、被害の拡大の防止を図ることが求められます。

また、警察や必要に応じて消防の協力を得るとともに、教育委員会に通報し、支援を得ることが必要です。

なお、学校は緊急事態の発生を直ちに全教職員に周知し、あらかじめ決めておいた役割分担（P.29参照）に基づき、具体的な対応を行い、子どもの安全確保を図ることが必要です。

学校の実施

1. 通報の有無を確認し、未通報の場合には緊急通報を行う。

警察に通報されていない場合は、「110番」通報する。

2. ボランティア等の支援を得て、子どもの安全確保を図る。

ボランティア等に、電話・電子メール等で支援を依頼する。

3. 現場（病院等含む）に急行し、情報収集と整理を行う。

(1) 子ども（周辺の子ども含む）や不審者の現状、対応状況等について情報を収集し、整理する。

①周辺の店や民家などに避難している子どもがいないか。

②不審者の現在の様子はどうか。

③現場では誰がどのような対応をしているか。

④負傷者が病院に搬送されていれば、病院に急行し、負傷者の氏名、負傷の状況等について把握する。

＊ 現場と学校との間で、携帯電話などによって常時連絡がとれるようにしておく。

(2) 仮に、不審者が近辺にいると考えられる場合は、警察が到着するまでの間、子どもの安全確保を図る。

4. 教育委員会への第一報と支援要請を行う。

すみやかに教育委員会に概要を報告するとともに、適宜報告し助言を得る。

また、必要に応じて専門スタッフ等の派遣を求める。

5. 負傷者がいる場合には、緊急通報や保護者への連絡を行う。

(1) 負傷者がいるが救急車の要請をしていない場合は、「119番」通報する。

(2) 負傷した子どもの保護者に、負傷状況の概要や搬送先病院名を連絡する。

＊ 保護者が大きなショックを受けないように発言には十分に注意する。

